

長距離バスターミナルの設置

1. 現況・課題

○駅周辺の混雑緩和

大宮駅及びさいたま新都心周辺道路では、頻繁に交通渋滞が発生しており、バスの定時性・速達性を低下させている。

○交通結節点としての機能・容量不足

高速バス、ツアーバスの多くが、路上で乗降が行われているため、一般車の通行を妨げている。

○点在する乗り場と運行状況等に関する情報不足

高速バスの乗り場が点在し、また、運行情報も的確に提供されていないものもある。

○待合環境が脆弱な高速バス乗り場

上屋・ベンチがほとんど無く、利用環境が悪い。
深夜利用可能なトイレ・売店等が限られ、待合環境が悪い。



長距離バスターミナルの設置

3. 検討の概要

(1) 平成26年度

○基本コンセプト

1. さいたま市及び埼玉県内外の交通の要衝・主要交通拠点としての整備
2. 高速バスをターゲットとして乗降場を確保し、利用者のための待合施設・情報提供施設を整備
3. 人が集まる交通拠点として地域活性化にも寄与する施設として整備

○他市事例整理

(2) 平成27年度

- ・コンセプトの確定、施設計画、整備スケジュール、運営方策等

4. 成長戦略スケジュール

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
候補地の選定後、概ね2, 3年で基本計画・実施計画を策定			用地取得・施設整備・供用開始			

5. 今後の検討

- 用地買収時期の調整と資金調達方法の検討
- 整備・運営に関してPFI及びPPP手法の導入及び公設の場合の検討
- 整備スケジュールの検討